

11月21日(日)開催（旭太田校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
1	<p>この計画に反対です。 小学校が廃校になると過そ化が固定化してしまいますし、コミュニティがなくなります。温暖化で災害も増えているので避難所としての小学校が必要です。</p>	<p>学校は、教育活動以外に、防災や地域コミュニティの活動拠点としての機能を有していることは承知しており、地域の学校が統合・再編の対象となることによる地域コミュニティや防災等への影響を心配されることは十分に理解できます。一方、学校は、何よりもまず、子どもたちの教育の場としての機能が最優先されるべきものであり、そのために、適正規模・適正配置の取組を進める必要があると考えます。その結果、地域コミュニティや避難所機能等に及ぶ影響については、地域の皆様との十分な協議を踏まえた上で閉校後の校地・校舎のあり方も含め、市長部局とともに検討していきます。</p>
2	<p>現在は旭小学校・土生中学校区で通学上、校区が変更されると、通学時間、距離が増えてしまう事と、地域コミュニティも土生町会に属している為、変更には反対です。新一年生から適用にする、又は、選択性にする等の対応をお願いします。 旭小学校を卒業した場合は、土生中へ進学できるようにしていただけない場合は、実家に住所を変更する等の対応を行います。校区の変更にならないように一貫校への変更を希望します。</p>	<p>通学する学校の選択制など、ご意見として承ります。 なお、新たな学校の開校やそれに伴う通学区域の見直し等は、計画が定まって（仮称）学校開校準備委員会が設置されてから、概ね5年後と想定しています。</p>
3	<p>小中一貫型小・中学校の施設形態で施設一体型がベストとの説明だったが施設隣接型もあるのはどうしてなのか。物理的条件は校舎建替等でクリアできるのでは？ 市全体として一体型、隣接型が地域によりちがった場合、差異が出てくるのではないのでしょうか。</p>	<p>義務教育9年間の系統性や連続性、めざす子ども像の共有といった小中一貫教育の大きなねらいを考えると、小中の職員室が一体化できることや、教員の相互乗り入れの際の移動時間が短縮できるなど、「施設一体型」のほうがさらに効率的で、高い教育効果が期待できるものと考えています。 一方、中学校と小学校の位置関係や、児童生徒数の状況、敷地面積等の課題により、施設一体型としての整備が困難な校区もあります。 「施設一体型」「施設隣接型」「施設分離型」のいずれによっても、小中一貫教育の十分な効果が得られるよう、「岸和田市小中一貫教育推進会議」等を通じて引き続き検討していきます。</p>
4	<p>小中一貫校にしていくことで本当に子ども達にとってメリットがあるのでしょうか？不安がいっぱいです。子どもの育ちの面においても…今この時期にとりいれていくのも疑問です。</p>	<p>本市における小中一貫校は初めての取組であり、保護者の皆様が疑問や不安を抱かれることは理解できるところです。全国的には小中一貫校が増えてきており、先日訪問した視察先では、その効果として、小学校低学年から中学生までが同じ施設で学ぶことにより、小学生は中学生を良き見本とし、中学生は小学生の世話をすることで、互いの自尊感情が高まったといったことや、過去には荒れていると言われた校区だが、小中一貫校の開校以降は特に中学生が落ち着いたといったお話しも伺っているところです。 また、当初一貫校の課題とされていた点についても、階段の仕様を小学校低学年の児童に合わせる、児童と生徒の動線を分ける、小中学校の職員室を一つにするなど、様々な工夫により解消されたという多くの対応策をお聞きました。今後も、他市の好事例を多く視察・研究することで、本市における小中一貫教育及び小中一貫校をより良いものにしていくよう努めていきます。</p>

11月21日(日)開催（旭太田校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
5	<p>小中一貫校のモデル校について、具体的にできる施設（体育館やグラウンド、校舎等）や、その広さがわかるものがほしい。</p> <p>小中一貫校になった場合、給食はどうなるのか？</p> <p>ゆっくり市民の意見をきいて、進めて下さい。お願いします。</p>	<p>旭太田校区に関係する（仮称）葛城小中一貫校は、現在の葛城中学校地の活用を予定しています。現葛城中学校の敷地面積は、22,209㎡（うち、建物敷地が16,459㎡、運動場敷地が5,750㎡）、体育館は1,138㎡となっています。</p> <p>老朽化している校舎もあることから、新たな学校が開校する際は、校舎の建替や改修工事等を行い、児童生徒が安心・安全で快適に学校生活を送ることができる施設整備を図ります。</p> <p>給食については、今後、保護者の皆様のご意見も踏まえつつ、検討していきます。</p>
6	<p>今回は、説明会を開いていただきありがとうございました。内容は聞かせてもらったとおり、よくわかりました。やはり、たくさんの方からあったように、境目に住んでいる人たちは、調整区域で進めていただきたいと思います。いろいろな行政側の事情はあるでしょうが、大切なのは、子どもたちの希望、思いではないでしょうか。今まですごした友だちと、離れて、中学に進むのは（大人の事情で、そうになってしまうのは）かわいそうに思います。ぜひ、ご検討ください。</p>	<p>調整区域の設定や激変緩和策などについても、地域や保護者の皆様のご意見をお聞きしながら、幅広く検討してまいります。</p>
7	<p>義務教育期間（小・中）は、現在の、学校での卒業ができますよう、配りよしていただきたい。</p>	<p>学校の小規模化に伴う課題を解消するためには、条件が整った段階で一斉に見直しを行うことが望ましいと考えますが、今後、地域や保護者の皆様のご意見を伺いながら、必要な対応を検討してまいります。</p>
8	<p>この計画において、まず第一に、子供の気持ちを一番考えてもらいたいです。</p> <p>小学生と幼稚園の子供がいるのですが、下の子供が、小学生の間に葛城小中一貫校が、できるみたいですが、その時は既に、従来の旭小学校に入学しているので、そのまま、その学校を卒業し、仲間と共に土生中学校へ進学させて下さい。</p> <p>上の子でいえば、小学3・4年でようやく学校生活にも慣れ、何度かのクラス替えをへて、たくさんの友達ができています。この段階で転校というのは本当に考え難いことです。5・6年では林間や修学旅行、最後の運動会等、様々な行事を通し、仲間意識が生まれ、よりいっそう団結力が高まります。そして、その仲間と共に中学校へ進むことにより、他の小学校からの子供達とも徐々に打ち解け、仲間になっていくのではないのでしょうか。</p> <p>中学進学時点で、多くの友達と別れ、新たな中学へ行くことは、不安でしかありません。今は昔と違い、多くの子供がスマホを持ち、ライングループをつくっています。早くて小学3年生。中学では、持ってあたりまえの環境です。</p> <p>そんなグループの中に入って行くことは、より、困難を強いられることだと思います。もし、転校によっていじめが発生した場合、市は責任をとっていただけるのでしょうか？市の勝手な計画で、子供が今まで築きあげてきた、友達との関係性をこわされたり、子供の進路を変更されたりすることは、あってはならないことだと思います。</p>	<p>調整区域の設定や激変緩和策などについても、地域や保護者の皆様のご意見をお聞きしながら、幅広く検討してまいります。</p>